

谷中防災コミュニティセンターや観光案内板に設置

台東区では「国際文化観光都市として」、また「災害時のため」に区が持っている施設や観光案内板、文化施設、めぐりんの車内で無料でインターネットに接続できるような仕組みを整えていくという方針を発表しました。以前にも本目さよからも、**災害時の連絡体制として避難所や帰宅困難者が滞在するための施設に、無料WiFiを整備すべきだと提案してきたものが、実現に向けて動き出しました。**

国や東京都、民間事業者と協力して整備をすすめ、可能な限り通信事業者が限定されることなく連続して利用できること、簡単に利用できるようにするとしています。

外国人観光客向け

外国人観光客が、日本に観光に来て何に一番困るかという、「インターネット接続環境」だそう。2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、文化施設、隅田公園、駐車場、めぐりん、観光案内板などに、公衆無線LAN(無料でインターネットに接続できる)機器を設置する。

防災用

災害時における避難者や帰宅困難者の集中度を考慮して、帰宅困難者支援施設や谷中防災コミュニティセンター、避難場所に設置をしていく。現在、すでに設置してあるのは浅草文化観光センター、浅草公会堂、中央図書館、たなか舞台芸術スタジオ。

石浜小学校で全児童向けの新しい事業を実施

これまで千束小学校では、学校に通う児童、全員を対象とした、子どもの安全な居場所づくりを実施してきました。他の小学校にも展開してほしいという声をたくさん頂いていましたが、新たに石浜小学校で、千束小学校と似たような事業を実施することが決まりました。千束小学校では、保護者が働いている場合のみ参加できる学童(こどもクラブ)と、全児童が対象の放課後こども教室に分かれていて、放課後こども教室の児童は、こどもクラブには参加できなかったのですが、石浜小学校では、その区分をしません。

目的はこどもクラブの待機児童の解消と、全ての児童の安全な居場所づくりです。

Homme's eye

他区で、全児童向けの事業をやる場合には、こどもクラブを全廃して実施という流れが多いのですが、台東区の場合は、共存をしていく方針のようです。

こどもクラブとの違いは、「専用の」スペースが、法定の面積が確保されているかどうかです。狭い台東区で「専用の」広いスペースを確保するのは困難ですが、小学校の放課後のスペースを使用することで、使っていない時間帯の教室などを活用することができます。

狭い台東区で、今後も増えていくと考えられる、こどもクラブの待機児童を解消するためにも、新しい取り組みにも積極的に取り組んで行くべきだと思っています。

ただし、「保育の質」はしっかり担保をした上で！！



ジンジャーとさよ

谷中に住む猫

区議会議員



石浜小学校の話、区民文教委員会では、ずいぶん熱く質問をしていたにや。



うん。だって、他の区だとこどもクラブをなくしたり、おやつがなくなったり、出欠を撮らなかつたりして、大分評判が悪いからね。



そんな評判が悪いのにや？！



全部が全部、というわけではないよ。子どもの安全な居場所として、学校はとて素晴らしい場所だし、いろいろ習い事みたいなことを学校でできるということで、いい面も沢山。



他区の事例を参考に、よいところは伸ばして、改善するべきところはすることで、よりよいものになるにや。



委員会では、「将来的にこどもクラブを無くすつもりはないよね？」ということを確認したら、他会派の先輩からも、この事業にいくらかかるんだ？！という質問があって、実はこどもクラブをつくるよりも、区としてはお金がかかるということがわかったの。わざわざお金がかかる方を選ぶ可能性は低いので、そんなに心配する必要はないかも。

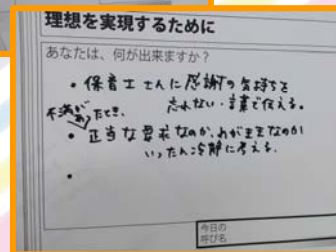
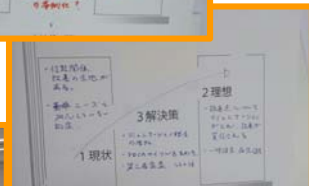
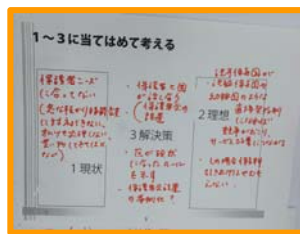


油断は禁物なのにな！今後もしっかりとチェックをしていってなのにな。石浜小学校が上手く行けば、蔵前小学校でも同じ仕組みの事業が行われるかもなのにな。

NEWS >> 「保育の質」とは保護者向けサービス??

「保育の質」とは何かを皆さんと考えました

8月8日に「保育の質」について考える会を開催しました。関心を持った様々な方にお集まりいただき、「保育の質」とは何なのか?どのようにしたら「保育の質」が高められるのかについて、ワークショップを通じて話し合いました。「保育の質」とは、保護者向けのサービスを高めてほしいという風になりがちですが大事なのは、**保育者と保護者の「コミュニケーション」や「信頼関係」が大切なこと**。そのため何ができるかという話になりました。詳細な報告については本目さよのブログで!



他自治体への視察のご報告

議会がない時期には、議会報告レポートを作成してくったり、区民の方々の声を聞いたり、様々なことに取り組みますが、忘れてはいけないのが「インプット」です。**先進事例を学び、真似をできることはするのが、よりよい台東区にするためには重用だと考えています。**

足立区 子どもの貧困対策

「貧困は連鎖する」ということは最近良く知られるようになりましたが、足立区では区長の肝いりで「子どもの貧困」に取り組むことを決めたそうです。平成27年度予算のトップに表示するほど力をいれており、「貧困の連鎖を断つために切れ目のない支援で子どもの貧困対策を強化します。」と述べています。

特徴は、**部署を横断して、さまざまなライフステージにおいて(特に義務教育の期間)、自治体としての支援を強化すること**。例えば、貧困と虫歯の観点に着目したり、本を読む頻度と国語の正答率や学校ごとの就学援助率と学力の相関に着目したりしています。

政策経営部という区の中核を担う機関の直下に、「子どもの貧困対策担当部」を設置しているところからも、区長の力の入れようが分かります。

妊娠期からアンケート調査等による、課題の把握、そして小学校1年生に対する貧困の調査(匿名性は保持するが、縦断的に追えるようなデータの取り方をするとのこと)、各種検診の確実な実施、中学生を対象とした居場所づくりとマンツーマンで勉強を教える仕組みづくり、シングル家庭の就労援助を国の基準の倍の長さにして、資格取得がしやすいようにするなど、ライフステージごとに取り組むとのこと。**台東区でも大きな課題だと思うので、引き続き、勉強をして提案をしていきます!**

墨田区 保育士の住宅補助

墨田区では、保育士確保のための方法として、私立認可園の保育士向けの住宅補助を実施しているそうです。

国や東京都からの補助も多くあるため、区としての負担も、私立保育園の負担も少なくできる事業であり、非常に興味深い事業でした。期間限定であることや、対象者は新たに採用した保育士のみだったり、課題もありますが、**台東区でも検討すべき事業だと考えます。**

総社市 障がい者千人雇用

H23年4月障がい者千人雇用を開始(H27年度末までの5カ年計画)障害者手帳をお持ちの方で、1200名のうち180名しか、就労人口が確認できなかったが、(翌年4月は483名)

最新の数字で865名が就労の確認ができていたとのこと。市役所では雇用について取り組むことができないのでハローワークとの連携が非常に重要。また、障がい者千人雇用センターともしっかりと連携をしているそうです。**雇用が厳しい時だからこそより弱い立場の方々のサポートをするべきだという市長の強い思いが感じられました。**



本目さよプロフィール

1982年3月10日生 33歳
私立成蹊高校、白百合女子大学を経て、お茶の水女子大学大学院修士
研究テーマは『夫婦の情緒的サポートと育児ストレスの関係』
修士後はIT系人事職として、社員が働きやすい会社づくりにつとめる。
2011年より台東区議会議員。2015年に再選を果たす。台東区では唯一の30代女性議員。
声なき声を聞くという意志と、少子高齢化への特効薬としての子育て支援に力を入れていることから
キャッチフレーズは「子育て、本命!ーやさしい政策ー」
「議員のあり方」とは何か?を模索しながら、区民の方々との双方向的な取り組みを実施している。

党籍: 民主党
会派: たいとうフロンティア
資格: 保育士
趣味: 空手・読書
おかしづくり
好きな物: 納豆・くだもの

本目さよ
連絡先

台東区上野桜木2-1-9-6A
MAil info@sayohomme.com
電話 03-5834-7283
FAX 020-4666-1376

<http://www.sayohomme.com/>
<https://www.facebook.com/hommeisayo>
@sayohomme
<http://ameblo.jp/hommeisayo/>

ほんめ
本目さよ

